



桑の緑

小坂小学校 学校便り
令和3年7月9日
文責：校長 江上 知男

子どもたちは、地域と・地域を・地域で学んでいます！



田植え(5年)



水源地見学(4年)



ボランティアスクール(6年)

7月6日は5年生の田植え、7月7日は4年生の水源地見学と6年生のボランティアスクールが行われました。田植えは、陣の徳永さん(学校運営協議会副会長)の田んぼをお借りし、田中さん・今野さんにご協力いただきました。町第3水源地見学は、町環境保全課の松本さん・引田さんに案内していただきました。ボランティアスクールは、町社会福祉協議会の頼本さんに講話をいただきました。

学校を離れて学習した4・5年生には、行き帰りに地域の方々が見守りをしてくださいました。担任は、「地域の方がおられると安心感が違う。子どもたちは『しっかりしなきゃ』という気持ちが働き、いつも以上に頑張った」との感想でした。また、地域の方は、「子どもたちと触れ合えて、本当に楽しかった。逆に元気をもらった」との感想でした。…これって、お互いに得した状態…「Win-Win」だと思いました。

6年生のボランティアスクールは、元々2学期の予定でした。実は、6年生に「思わぬ怪我」で、松葉杖・車椅子を使って生活している子どもがいるため、「友達の立場を理解して欲しい」という担任の強い思いで予定を変更しました。6年生は、ケガをしている友達のために「2階の教室を1階に引越しよう」と決めた優しい子どもたちです。さらに「相手意識」が高まったことと思います。

このように、本校では「地域と」「地域を」「地域で」学ぶ機会が増えています。このことで、子どもたちが社会のつながりの中で学び、地域の方々と関わりを持つことで、「自分も社会と関わりを持ちたい」「人生や社会を大切にしたい」という実感を持つことができると思います。この積み重ねが、「子どもたちが社会に出たときに、困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力になる」と考えています。



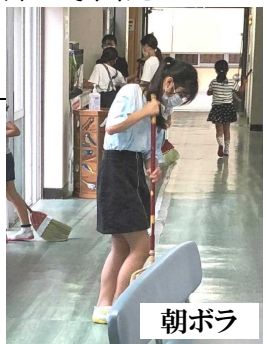
楽しい会話！

英語のパフォーマンステスト？

校内を歩いていたら、6年生のパフォーマンステストの場面に行き当たりました。このテストは、主に学期末に「英語の評価」として行うもので、「学習した表現を使って話す」「相手に伝わるように詳しく話す」「ジェスチャーや表情など相手のことを考えて話す」ことなどを目標にして、教師と子どもが1対1で会話します。

それにしても、6年生の英語が流暢なこと！専科の寺園先生やALTのクリス先生と「会話を楽しむ」様子を見ることができました。このまま、英語に対して苦手意識を持たず、「世界の人と話せる言語」として好きでいて欲しいです。

「朝のボランティア」ありがとう！ 環境委員会がみんなに呼びかけて、「朝のボランティア活動」が行われています。低学年も高学年もたくさんのお子どもたちが協力しています。環境委員会は、運営委員会とコラボして「おそうじプロ」と名付けた掃除コンクールも実施します。校舎内がきれいになることも嬉しいですが、子どもたちが主体的に動いていることがもっと嬉しいです。



朝ボラ